



明峰中 小瀬高 中高一貫だより



明峰中学校と小瀬高校は、連携型中高一貫校として異年齢集団の交流を通して、豊かな感性を培い、共に磨き合い心豊かでたくましい生徒、将来にわたって地域に貢献できる有為な人材の育成に努めています。

ふれあいキャンパス

中学生と高校生が、11の講座に取り組みました

11月9日(火)に、連携事業の一つである「ふれあいキャンパス」が開催されました。生徒は、普段とは違う雰囲気の中で、交流しながら楽しく学び、学ぶことの楽しさを実感する機会となりました。

ふれあいキャンパスにご参加いただいた来賓の方々からは、「中学生と高校生が、互いのことを考えながら交流している姿が見られて良かった」「様々な活動に取り組んでいる姿が、とても自信に満ちあふれていて輝いていた」等の感想をいただきました。今後も、県内唯一の連携型中高一貫教育校として、相互に交流を深めながら、様々なことにチャレンジしていきます。



折紙で季節を表現 (家庭科)



葉脈しおりを作ろう (理科)



認知症について学ぼう (福祉コース)



Let's Enjoy KYUDO (英語科)



ペーパークラフトを作ろう (社会科)



フェアトレードについて学ぼう (英語科)

スポット授業 (社会、国語)

小瀬高の先生が明峰中で授業を行いました

連携事業の一環として、小瀬高校の教員が明峰中の生徒に出前授業を行う「スポット的授業」を実施しています。10月12日(火)には、上田英雄教諭により、2年生を対象に「水戸藩と常陸大宮(旧緒川村)」を主題にして歴史の授業が行われました。また、10月15日(金)には、小林恭平教諭、市村志帆教諭により、3年生を対象に「古典に親しむ」ことを目的として授業が行われました。国語科のスポット授業では、高校生二人(平塚さん、益子さん)も参加し、学習活動をサポートしました。



上田教諭の社会科の授業



小林・市村教諭の国語科の授業



授業に参加した平塚さん・益子さん